

改善の動きが多く見られるも、依然としてマイナスで推移。

山口商工会議所では、管内中小企業98社を対象に景況調査を実施し、このほど令和5年7～9月期実績と令和5年10～12月期見通しについての調査結果（回答数90社、回答率91.8%）をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

業況DI値について、前年同月の今期（令和5年7～9月期）の状況を集計したところ、業況判断DIは、製造業以外で改善が見られるも、変わらずマイナスで推移している。売上については、製造業、サービス業以外は増加しており、特に小売業は▲43%から▲21%と大幅に増加した。また、仕入単価については、小売業、サービス業以外は低下が見られた。製造業、建設業については2期連続で低下している。資金繰り、経常利益についてはどちらも小売業は変化ないが、そのほかの業種は改善している。資金繰り、経常利益がともに改善したのは約1年ぶり。

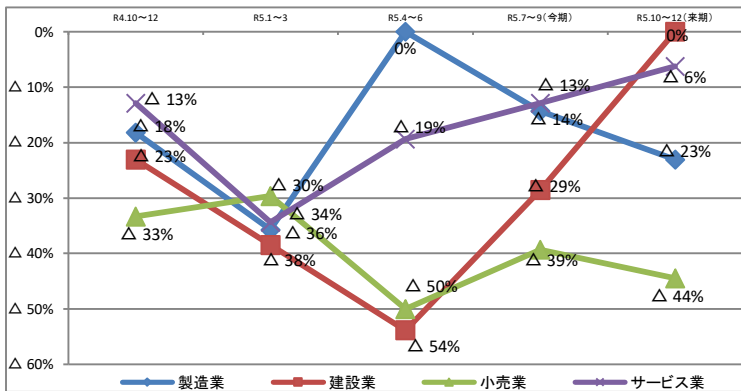
今期中に設備投資を実施した企業は全体の16%、来期設備投資を実施予定の企業は15%であり、今期から来期にかけて設備投資への意欲はほぼ変わらない。

経営上の問題点については、原材料等の価格の上昇、需要の停滞、ニーズの変化への対応が上位に入っている。何期にも渡り、経営上の問題点の上位があまり変動しないことから、情勢の変化もあまり見られな解決策を見出せていない状況だと考えられる。

◆業況DI値（今期の状況）

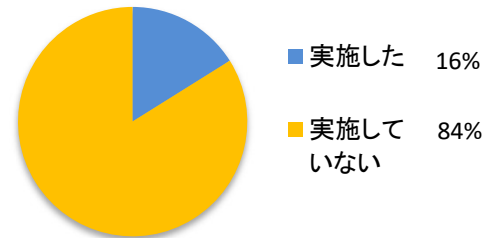
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 25%	↗	△ 15%	↗	△ 21%	↗	69%	↘	△ 30%	↗	△ 3%	↗
製造業	△ 14%	↘	△ 7%	↘	△ 8%	↗	71%	↘	△ 14%	↗	0%	↗
建設業	△ 29%	↗	△ 36%	↗	△ 7%	↗	64%	↘	△ 29%	↗	△ 43%	↗
小売業	△ 39%	↗	△ 21%	↗	△ 36%	→	68%	→	△ 39%	→	24%	↘
サービス業	△ 13%	↗	0%	→	△ 17%	↗	70%	↗	△ 27%	↗	△ 7%	↗

◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）

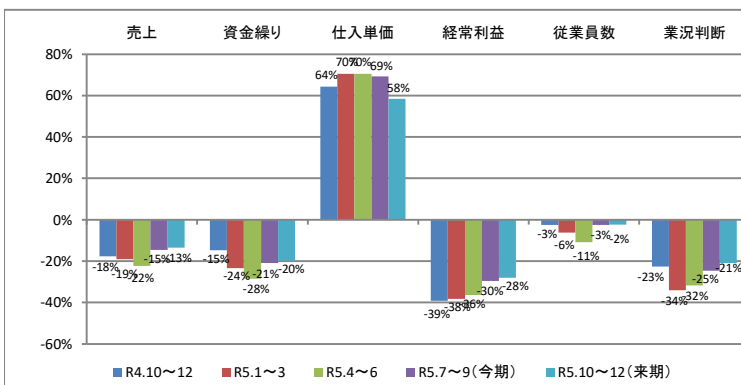


◆新規設備投資（今期実施・来期計画）

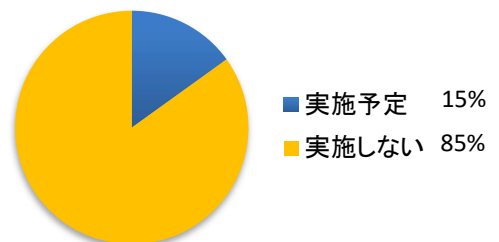
【今期設備投資】



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期設備投資計画】



◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
1位	原材料価格の上昇	32.3%	材料価格の上昇	21.2%	仕入単価の上昇	21.5%	人件費以外の経費の増加	16.3%
2位	需要の停滞	16.1%	従業員の確保難	15.2%	需要の停滞	16.9%	材料等仕入単価の上昇	15.1%
3位	製品ニーズの変化への対応	9.7%	官公需要の停滞	12.1%	消費者ニーズの変化への対応	12.3%	利用者ニーズの変化への対応	10.5%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。